

# みんなが手をつなぐために

問い合わせ 人権・男女共同推進課 ☎09136

## 12月4日～10日は人権週間

### 相手の気持ち、考えていますか？

人権と聞いて皆さんはどんなことを思い浮かべますか。「大切なもの」「守らなければならないもの」など漠然としたイメージはあっても、改めて考えてみるとうまく説明できないという人も多いのではないのでしょうか。

人権とは「人間が人間らしく生きる権利」で、全ての人が生まれながら持つ権利です。「人権を守ろう」という言葉はよく聞きますが、実際にどんなことに気をつければいいのか、少し考えてみませんか。

### ■自分の「常識」「ふつう」

人は、日々の暮らしの中で無意識のうちに、自分の「常識」「ふつう」にとらわれています。「女は女らしく、男は男らしくあるべき」と考えることもその一つで、根強く残る性別役割分担意識です。「高齢者はこういうものだ」といった思い込みも偏見や排除につながります。こういった理解が進まないことが当事者にとっての生きづらさとなります。

### ■思い込み

インターネット上の根拠のない情報を信じてしまい、思い込みから他者を責めることになる場合もあります。まずは、「自分が思い込みにとらわれているかもしれない」と立ち止まり考えることが大切です。

### ■多数派？少数派？

性的少数者の人は、日本では10～20人に1人とされています。これは、左利きの人とほぼ同じ割合です。「自分の周りにはいない」と思い込み、心ないことばでその人を傷つけているかもしれません。

私たちは、自分が多数派にいることに安心を感じる場所があり、多数派が正しいと思いがちです。少数派を感じる困りごとに気付くことができない場合があり、多数派の数の力で少数派の意見を無視することが差別や排除につながることもあります。

差別したり、されたりということは、特定の人に起こるものではなく、誰にでも起こる可能性があります。自分の「ふつう」が正しいことなのか、他人ごとではなく、自分ごととして、しっかりと向き合い、考えていきましょう。

## 多文化共生の扉

問い合わせ 国際交流・多文化共生室 ☎0201

### 「多言語情報(廿日市市)」Facebookページを開設しました

廿日市市で暮らす外国人に向けて、生活に必要な情報をより分かりやすく発信するために、「多言語情報(廿日市市)」のFacebookページを新たに開設しました。

外国人は、国によって主に使うSNSが異なります。例えば日本では、主にLINEなどを使ってやりとりすることが多いですが、中国ではWeChatというLINEと似たようなSNSをよく利用しています。

これまでさまざまな外国人にヒアリングする中で、Facebookは、多くの国の人が利用していることが分かりましたので、Facebookで多言語での情報を発信することになりました。

記事はベトナム語、タガログ語、英語、中国語、日本語で掲載しています。近くに外国人が暮らしていたら、多言語ページを案内してください▶



### 多文化共生推進員

中国語、タガログ語、英語、ベトナム語で相談できます。

●中国語 火・木曜日 9:00～16:00 山本雅音 さん

●タガログ語・英語 水・金曜日 9:00～16:00

たけしたりえ さん 竹下理恵 さん

●ベトナム語 木曜日 9:00～16:00 平岡優花 さん

推進員がいるところ 市民活動センター

相談できること 市役所や学校など、日本の生活でこまっていること

## 12月3日～9日は「障害者週間」です

障害者週間には、障がいのある・なしに関わらず、全ての人が互いに支えあう社会の実現を目指し、障がい者福祉の啓発活動が行われます。

障害者週間に合わせて、一人一人が笑顔で暮らせるまちづくりを考えてみませんか。

市内の障がい者団体や障がい福祉サービス事業所の活動を紹介する展示や体験などを行います。

とき 12月3日(土)10時～17時

ところ ゆめタウン廿日市2階 フロアスペース(青のエスカレーター前付近)

問い合わせ 障害福祉課 ☎09152

障がい福祉相談センターきらりあ ☎0224

はつかいち福祉ネットホームページ▶



▲昨年のパネル展示の様子

▼聴覚障がいのある人から手話を教わる体験コーナー



相談してください。窓口を紹介しています。



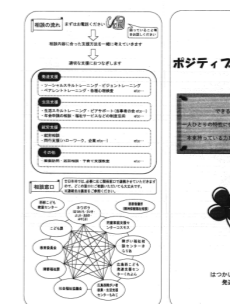
買い物や外出についてきてほしい
仕事の訓練を受けたい
家での家事などを手伝ってもらいたい
親が高齢になり将来のことが不安
家に引きこもっているがどうしたらいいのだろうか
障害年金に関して教えてほしい
福祉機器や情報機器などのことを知りたい
仲間がほしい
不登校になっている子どものことで相談したい
子どもの発達に関して相談したい
不安な気持ちを話したい
親からの自立を考えたい
毎日のお金の管理に関して不安がある
日中の居場所を探している



こんなとき相談してください  
障がいのある人、その家族、関係者などから寄せられる困りごとの声はさまざまです。一人一人に合ったサポートの内容を一緒に考え、相談内容にあった専門機関へ紹介します。案内チラシを市役所や山崎本社、みんなのあいプラザで配布しています。



障がいのある人のための福祉サービスガイドブック(廿日市市版)  
障がいのある人が地域で安心して生活するために、福祉サービスの利用に関して、分かりやすく掲載したガイドブックです。障害福祉課や障がい福祉相談センターきらりあにあります。



ポジティブライフガイド  
幼児期から成人期を通して相談窓口の紹介をしています。発達障がいのある人が、一人一人の特性に合った支援を受けることができ、本来持っている力を発揮しやすくなります。市内の保育園・幼稚園、小学校などに配布しています。